

CYCLE SHOP CIELO

～「スポーツ自転車の楽しさを伝えたい！！」～

今回 伊奈町寿にあるサイクルショップ・シエロ代表の永田 岳（49歳）様にお店の事業内容とその運営方針について、お話しを伺いました。店が手掛けられている事業は、スポーツ自転車（サイクル）及び一般自転車の販売・修理・点検と保険代行です。

－「代表は異色の経歴を保有」－以前は日本航空の整備士で、20年努められて、2010年退社し、元々、年に一度は同僚と全国をサイクリングしていたように自転車が好きであったため、桶川市の自転車店に勤務され、その後2014年9月に独立して「サイクルショップ・シエロ」を創業されています。



永田代表

－「店名にかけた思い」－シエロ(CIELO)とはイタリア語で「空」を意味し、のびのびと広くという思いを込めています。看板の色はスカイブルーで統一してCIELOの書体はゆるく描くことで、お店の敷居を低く「親しみやすく楽しくどなたでも入れる」ことを訪ねる人が感じられることを目指しています。仕事は、航空機の整備士時代とは違い、お客様の目の前で説明や組み立て・修理をしてお客様とコミュニケーションをとることが、やりがいがあると話されています。

－「サンデーサイクリング開催」－毎週会員に参加をLINEで呼びかけています。県内のサイクリングロードを中心に、行田市方面から埼玉スタジアムにかけて午前中行っています。「自転車は世代も立場も超えてた参加者相互のコミュニケーション」が図れますと話され、仲間同士の手合図で、安全にどこにでも行けるし、ペダルを漕いでいると、生きているという実感が湧いてくるとスポーツ自転車の魅力を大いに語られました。



サイクリング風景

－「夏休み子どもお仕事体験教室での活動」－伊奈町商工会主催の「第1回2019夏休み子どもお仕事体験教室」にシエロも参加しています。8月5日午前、参加者は11名（小・中学生7名、保護者4名）で、交通ルールや自転車点検（タイヤの空気圧・ブレーキ・サドルの高さ・チェーンのサビなど）と「空気入れや潤滑油の付け方」を指導されていました。子供に整備方法が正しく伝わっていないと感じ、参加者には「いつでも相談にきてね」と優しく話されています。



自転車の点検の仕方勉強中

－「今後の活動予定」－イベントや普及活動に積極的に取り組みます。その中で、自転車大国のベルギー発祥の自転車教室「ウィーラースクール」への取り組みが考えられます。それは、交通ルールの指導を優先する従来のやり方ではなく、知識とともに操作技術を正しく学ぶことで、スポーツ自転車に繋がるサイクリングの楽しさを子供たちに教えたいと思いがあからずうです。こうした環境作りは我々の責任で、行政や学校などとも連携して『伊奈町は自転車で走る楽しい町』にしたいと考えているからです。それは「安全でかつ健康的で地球環境にも優しい自転車」だからです。

創業5年間で、お客様は地元はじめ県外からも来るようになり認知されています。伊奈町商工会の協力で平成29年11月に「経営革新計画」の承認を受けて3年で終了します、新たに「シエロ」を積極的に情報発信していきますと抱負を語られています。（取材：上尾・アブセック）